

ー I S O B U S の重要性について、会員企業の間で理解が進んでいるか。

企業間で温度差はあるものの、昨年8月の普及推進会立ち上げ以降、理解が広まってきたと感じる。

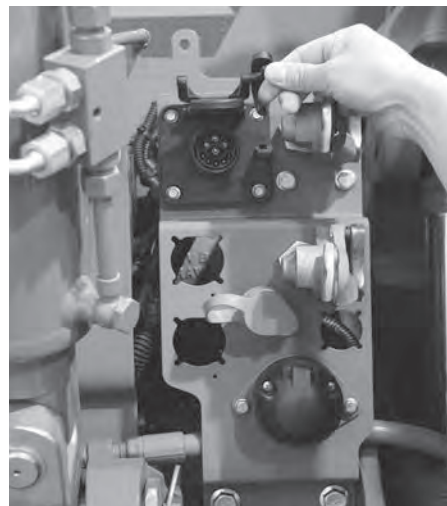
この会の最終目標は国に働き掛け、I S O B U S の認証を受けられる国内拠点を開設することだ。製品を開発するたびに欧米の認証センターに持ち込んでいた費用

がかかる。会員企業が I S O B U S 対応型製品の開発実績を積み上げ、国に重要性をしっかりと認識してもらう必要がある。

十勝を起点に国産作業機の I S O B U S 対応が進み、輸出が増える未来を描いている。十勝の地域振興に加えて、日本の農機産業の発展に一役買いたい。



I S O B U S 対応のトラクターと肥料散布機



対応トラクター後部には専用のプラグ差し込み口がある



トラクターに備え付けのモニター画面で作業機の細かな設定ができ、操作性が向上する



プラグが統一され、トラクターと作業機を簡単に連動できる



電子制御ユニット（ECU）内に I S O B U S に沿った通信プログラムを組み込み、作業機に搭載する